

一〇二二年一二月三日

藪巻を終へて松並威儀正す　愛正
黄落や築百年といふチャペル　むべ
行き戻る靴跡一つ冬河原　なつき
城壁をひろがり攀じる薦紅葉　ぽんこ
岩壁を登るがごとく山の霧　愛正
墓に父母恋へば小春日吾をつつむ　素秀
蝶のごと風に舞ひつつ黄落す　わかば
大火鉢据えて老舗の料理店　はく子
宇治小春茶そば御膳に舌鼓　はく子
葦枯れて川に残りし渡し舟　素秀
寒木瓜のほのと紅差す陽射しかな　むべ

毎週句会秀句・みのる選・二〇二二年一二月四日